

過去の深層崩壊事例について(～平成22年度)

<リストに関する注釈>

- 本リストは、明治時代以降から平成22年度までの間において、降雨等によって発生した深層崩壊と考えられる現象を抽出したものである。
- 抽出に当たっては、以下のA)、B)のいずれかの条件が合致した事例を抽出した
- A) 既往の調査結果等から、深層崩壊と確認された、または深層崩壊と推定される事例(※)
  - ※すべり面が表層よりも深部で発生し、表土層だけでなく深層の地盤までもが崩壊土塊となる。
  - ※崩壊土塊(土砂)の大部分が、崩壊範囲の外へ移動している。
- B) 崩壊の規模が大きい事例(崩壊土砂量が概ね10万m<sup>3</sup>以上・崩壊面積が1ha以上・崩壊深さが5m以上)※。
  - ※文献より崩壊に関する情報が直接記載されていなくても、関連資料からそれらが推察できる場合は採用した。
- 地震による深層崩壊は含んでいない。

<項目に関する注釈>

崩壊地の諸元については、文献に記載されている数値をそのまま抜粋している。詳細は以下のとおり。  
 「崩壊地-幅(m)」、「崩壊地-長さ(m)」、「崩壊地-深さ(m)」は最大、平均等は区別していない  
 「崩壊地-長さ(m)」は最大・平均、斜面長・水平長等の区別はしていない  
 「崩壊地-深さ(m)」は最大・平均、厚さ・深さ等の区別はしていない。  
 また、実測ではなく、推定されたものと予想される数値については記載していない  
 「崩壊地-面積(m<sup>2</sup>)」は最大・平均等の区別はしていない。  
 「崩壊地-体積(崩壊土砂量:m<sup>3</sup>)」については、文献に「崩壊土量」、「移動土塊量」等さまざまな表現が用いられている。

No	発生年月日	発生場所	崩壊地-幅(m)	崩壊地-長さ(m)	崩壊地-深さ(m)	崩壊地-面積(m <sup>2</sup> )	崩壊地-体積(崩壊土砂量:m <sup>3</sup> )	関連文献
1	1962/10/17	北海道爾志郡乙部町宇豊浜	350	750	-	-	3,500,000	山岸宏光・志村一夫・山崎文明:空中写真によるマスマーメント解析,北海道大学図書刊行会,221pp.p.133-139,2000
2	1978/4/17	北海道積丹郡積丹町大字美国町	150	350	50	-	2,625,000	山岸宏光・志村一夫・山崎文明:空中写真によるマスマーメント解析,北海道大学図書刊行会,221pp.p.124-126,2000
3	1981/7/7	北海道様似郡様似町宇新富	200	300	-	-	1,000,000	戸田英明・雨宮和夫:最近の地すべり事例における新知見,地すべり学会北海道支部20周年記念シンポジウム予稿集,p.47-52,1998
4	1992/4/9	北海道浦河郡浦河町宇上杵臼	145	232	22	-	170,000	戸田英明:日高山脈の深成岩体における大規模崩壊事例,第36回地すべり学会研究発表講演集,p.101-104,1997
5	1999/3/10	青森県十和田市奥瀬(旧十和田湖町)	150	160	20	-	200,000	御法川信樹・川上伸一・小原正明・江坂文寿:自然環境に配慮した地すべり対策事例,日本地すべり学会誌,Vol.42.No.3,p.42-46,2005;青森県「奥入瀬渓流調査委員会報告」,2000
6	2002/4/15	青森県西津軽郡深浦町大字岩崎	350	200	8	35,000	250,000	八木浩司・権理大助・牧田聖・神林友弘・大友幸子・井口隆:2002年4月に発生した白神山地・向白神岳北西面の岩盤斜面崩壊とその前兆としてのサギング地形,日本地すべり学会誌,Vol.40.No.6,p.57-61,2004
7	1948/9/16	岩手県宮古市門馬(旧川井村)	-	-	-	-	-	清水長正:甲池峰山における斜面地形に規定された森林限界,季刊地理学,Vol.46,p.126-135,1994;防災科学技術研究所 既往斜面災害データベースweb-GIS版(No.17) http://lsweb1.ess.bosai.go.jp/Website/SlopeDisasterWeb/viewer.htm
8	1993/6/5	山形県東田川郡庄内町(旧立川町)	500	400	-	350,000	5,760,000	関口辰夫・佐藤信夫:月山火山・立谷沢川流域の地すべり地形,日本地すべり学会誌,vol.40, No.1, p.63-67, 2003.;森田真一・松村和樹・杉浦信男・菅原信雄・前田禎・小野田敏:立谷沢川流域における大規模崩壊性地すべりについて,平成7年度砂防学会研究発表要旨集,p.369-373,1996
9	1994/11/1	山形県最上郡戸沢村	200	200	-	-	325,600	平成10年度 崩壊発生機構調査
10	1998/9/16	山形県米沢市板谷地内	-	-	-	-	-	平成16年度 阿武隈川水系砂防施設整備計画検討業務 砂防微地形分類図
11	2000/5/1	山形県鶴岡市大鳥	-	-	-	-	-	赤川圏域の課題と当面の進め方 平成18年9月 赤川圏域総合防災会議
12	1953/7/26	神奈川県足柄下郡箱根町強羅	-	200	20	-	800,000	小田嶋利八・山崎忠雄:箱根早雲山の地すべりについて,新砂防, No.14,p.15-19,1954
13	1902/5/17	新潟県妙高市粟立山(旧新井市)	300	850	-	-	-	澤ら(2006),万内川・日影沢における歴史的砂防施設について,平成18年度砂防学会研究発表要旨集
14	1963/3/16	新潟県糸魚川市小泊(旧西頸城郡能生町)	100-170	370	-	45,000	150,000	安藤武文:新潟県西頸城郡能生町の地すべり,地質ニュース, No.105,p.10-14,1963
15	1967/4/26	新潟県魚沼市水沢新田(旧北魚沼郡広神村)	250	150	-	-	840,000	青木滋:高浜信行:新潟県における初生斜面崩壊の発生期と発生原因に関する一考察―地すべり地の履歴に関する研究(その2)―,新潟大学理学部地盤災害研究施設研究年報, No.3,p.19-29,1977;新潟県HP http://www.pref.niigata.lg.jp/sabo/1201194036005.html
16	1967/5/4	新潟県糸魚川市大所川左岸赤禿山	-	-	-	-	500,000	松本砂防事務所(2003):松本砂防管内とその周辺土砂災害,30.
17	1978/5/18	新潟県妙高市(旧妙高村)	120	150	30	18,000	180,000	正木和明・飯田浪事:1978年5月18日妙高土石流の被害調査,愛知工業大学研究報告, B.専門関係論文集, No.14,p.235-242,1979
18	2004/7/13	新潟県三島町中永地区	-	-	-	-	-	丸井ら,2004年7月新潟豪雨土砂災害調査報告(速報),砂防学会誌,Vol.57, No.3, 53-59, 2004.
19	1932/7/19	富山県黒部市(旧下新川郡愛本村)	-	-	-	-	-	黒部川流域マップ(平成21年度事業概要巻末p9)
20	1937/8/7	富山県黒部市(旧下新川郡内山村)	-	-	-	-	-	黒部川流域マップ(平成21年度事業概要巻末p9)
21	1969/8/7	富山県富山市大山町有峰	-	-	-	-	150,000	建設省北陸地方建設局立山砂防工事事務所:立山砂防70年のあゆみ,建設省北陸地方建設局立山砂防工事事務所,373pp.p.80-83,185,1997
22	1969/8/11	富山県黒部市(旧宇奈月村)黒部川流	120	400	-	-	5,000,000~6,000,000	鈴木 雅一(2001):黒部川上流,廊下沢崩壊地の推移―航空写真を用いた崩壊発生後25年間の変化の検討―,砂防学会誌,54-2,13-18.
23	1980/5/27	富山県黒部市(旧下新川郡宇奈月町)	-	-	-	-	-	黒部川流域マップ(平成21年度事業概要巻末p9)
24	1995/7/12	富山県黒部市(旧下新川郡宇奈月村)	-	-	-	30,000	-	―建設省北陸地方建設局黒部工事事務所:平成7年7月黒部川流域豪雨災害状況,砂防学会誌,Vol.48.No.5,p.33-38,1996;黒部川流域マップ(平成21年度事業概要巻末p9)
25	1995/7/12	富山県黒部市(旧下新川郡宇奈月村)	-	-	-	250,000	-	林真智・豊山孝子・斉藤和也・清水孝一・山越隆雄:SARデータを利用した土砂災害の観測,(社)日本リモートセンシング学会第29回学術講演会論文集,p.73-74,2000;建設省北陸地方建設局黒部工事事務所:平成7年7月黒部川流域豪雨災害状況,砂防学会誌,Vol.48.No.5,p.33-38,1996;黒部川流域マップ(平成21年度事業概要巻末p9)
26	2001/7/4	富山県黒部市(旧下新川郡宇奈月町)	-	-	-	10,000	-	阿部和時:平成13年7月,小黒部谷における山腹崩壊調査,治山,Vol.46.No.6,p.132-135,2001
27	1934/7/10	石川県白山市別当谷(旧石川郡白峰村)	-	-	-	16,900	1,641,000	西川一:別当谷の大崩壊(大崩壊シリーズ-15-),砂防学会誌,Vol.40.No.6,p.33-35,1986
28	2004/5/17	石川県白山市別当谷(旧石川郡白峰村)	-	-	-	-	176,000	中谷ら:急勾配区間での土石流に関する運動学的特性の再現手法について,砂防学会誌,Vol.58, No.4, 35-40, 2005 白山砂防:http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/hakusanabo/03history/images/saiga03.01.jpg
29	1943/ /	福井県大野市上打波 橋立峠	-	-	-	-	280,000	科学技術庁資源調査会編:九頭竜川の治山水土調査に関する報告,科学技術庁資源調査会報告, No.37,324pp.p.87-103,1965

No	発生日月	発生場所	崩壊地幅(m)	崩壊地長さ(m)	崩壊地深さ(m)	崩壊地面積(m <sup>2</sup> )	崩壊地-体積(崩壊土砂量,m <sup>3</sup> )	関連文献
30	1965/9/15	福井県大野市中島(旧大野郡西谷村)	50	-	-	-	330,000	二次災害防止研究会編:二次災害の予知と対策No.3.(社)全国防災協会,431pp.p.17-18,1989
31	1898/9/11	山梨県南巨摩郡南部町成島	240	-	20	120,000	1,800,000	富士砂防事務所(2007):富士山周辺の地震と土砂災害,72p
32	1959/9/?	山梨県北杜市武川町(旧武川村)	30	500	20	15,000	120,000	砂防調査報告書 昭和34年度 大武川,小武川,尾白川,濁川,流川,早川流域,関東地方建設局,p.195-200.211-220.247-252.図-7(付図).1960
33	1959/9/?	山梨県北杜市武川町(旧武川村)	25	500	20	12,500	87,500	砂防調査報告書 昭和34年度 大武川,小武川,尾白川,濁川,流川,早川流域,関東地方建設局,p.195-200.211-220.247-252.図-7(付図).1960
34	1959/9/?	山梨県北杜市武川町(旧武川村)	20	350	20	7,000	70,000	砂防調査報告書 昭和34年度 大武川,小武川,尾白川,濁川,流川,早川流域,関東地方建設局,p.195-200.211-220.247-252.図-7(付図).1960
35	1959/8/14	山梨県北杜市武川町(旧武川村)	40or30	400	12or20	16000or12000	96,000	砂防調査報告書 昭和34年度 大武川,小武川,尾白川,濁川,流川,早川流域,関東地方建設局,p.195-200.211-220.247-252.図-7(付図).1960
36	1959/8/14	山梨県北杜市武川町(旧武川村)	40or30	400	12or20	16000or12000	96,000	砂防調査報告書 昭和34年度 大武川,小武川,尾白川,濁川,流川,早川流域,関東地方建設局,p.195-200.211-220.247-252.図-7(付図).1960
37	1959/8/14	山梨県北杜市武川町(旧武川村)	50	450	15	22,500	112,500	砂防調査報告書 昭和34年度 大武川,小武川,尾白川,濁川,流川,早川流域,関東地方建設局,p.195-200.211-220.247-252.図-7(付図).1960
38	1959/8/14	山梨県北杜市武川町(旧武川村)	100	200	20	20,000	140,000	砂防調査報告書 昭和34年度 大武川,小武川,尾白川,濁川,流川,早川流域,関東地方建設局,p.195-200.211-220.247-252.図-7(付図).1960
39	1959/8/14	山梨県北杜市武川町(旧武川村)	100	300	20	30,000	240,000	砂防調査報告書 昭和34年度 大武川,小武川,尾白川,濁川,流川,早川流域,関東地方建設局,p.195-200.211-220.247-252.図-7(付図).1960
40	1959/8/14	山梨県北杜市武川町(旧武川村)	100	300	20	30,000	210,000	砂防調査報告書 昭和34年度 大武川,小武川,尾白川,濁川,流川,早川流域,関東地方建設局,p.195-200.211-220.247-252.図-7(付図).1960
41	1959/8/14	山梨県韮崎市清哲町青木	100	200	7	20,000	120,000	砂防調査報告書 昭和34年度 大武川,小武川,尾白川,濁川,流川,早川流域,関東地方建設局,p.195-200.211-220.247-252.図-7(付図).1960
42	1959/8/14	山梨県韮崎市清哲町青木	80	320	11	25,600	102,400	砂防調査報告書 昭和34年度 大武川,小武川,尾白川,濁川,流川,早川流域,関東地方建設局,p.195-200.211-220.247-252.図-7(付図).1960
43	1982/8/?	山梨県南アルプス市芦安芦倉(旧中巨摩郡芦安村)	-	-	-	-	-	平成10年度 釜無川-早川流域微地形調査 微地形分類図「鳳凰山」
44	1999/6/10	山梨県南巨摩郡身延町(旧中富町)	-	-	-	-	84,000	反町雄二・南哲行・山田孝・佐原克夫・金子正則・小島伸一:1999年6~7月に全国で発生した土砂災害について(速報).砂防学会誌,Vol.52.No.3,p.50-54,1999 山梨県建設技術協会 <a href="http://www.nashiken.jp/data/42_1.pdf">http://www.nashiken.jp/data/42_1.pdf</a>
45	2004/5/11	山梨県南巨摩郡早川町奈良田	250	-	10	-	500,000~1,000,000	堀内成郎・赤沼準一・水山高久・森田真一・横田浩:荒川流域における大規模崩壊とその後の土砂流出について、平成19年度砂防学会研究発表要集,p.94-95,2007. R.Nishii・N.Matsuko:Monitoring rapid head scarp movement in an alpine rockslide, Engineering Geology, Vol.144,p.49-57,2010
46	1891/6/11	長野県北安曇郡白馬村	400	800	-	210,000	3,200,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害,古今書院,205pp.p.26-28,2002
47	1911/8/?	長野県北安曇郡小谷村	-	-	-	-	150,000,000	町田洋:荒川流域の一渓流の荒廃とその下流部に与える影響,地理学評論,Vol.37.No.9,p.477-487,1964
48	1939/4/21	長野県北安曇郡南小谷村親沢	150	300	60	-	6,500,000	国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所:松本砂防管内とその周辺の土砂災害,国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所,48pp.p.29,2003
49	1961/6/29	長野県下伊那郡大鹿村	-	450	15	180,000	2,700,000	井良沢道也:大西山の大崩壊(大崩壊シリーズ-6),砂防学会誌,Vol.39.No.1,p.30-32,1986
50	1981/8/22	長野県須坂市仁礼	100	100	-	-	130,000	川上浩・斎藤豊・荒木正夫・寒川典昭・小林剛・阿部広史:昭和56年台風15号による宇原川土石流の発生原因と流下形態,砂防学会誌,Vol.35.No.1,p.53-61,1982
51	1992/4/6	長野県北安曇郡小谷村	500	500	-	-	2,100,000	遠辺ら:荒川支川浦川に発生した大規模土石流について,砂防学会誌,Vol.46, No.1, 41-44, 1993 下澤ら:1992年4月稗田山において発生した大規模土砂移動について、平成6年度砂防学会研究発表要集,115-118,1993.
52	1996/12/6	長野県北安曇郡小谷村	-	-	-	-	39,000	土砂災害年報編集委員会:土砂災害の実態,(財)砂防・地すべり技術センター, No.1996.p.50-54,1997. 丸井英明:浦原沢土石流災害についてー浦原沢土石流の発生源となった源頭部崩壊と地下水の挙動ー、平成10年度砂防学会研究発表要集,p.36-37,1998
53	1997/5/4	長野県長野市鬼無里日影(旧上水内郡鬼無里村)	250	420	-	100,600	926,000	阿部和時・真島征夫・岩井清志・宮下寛彦:長野県鬼無里村で発生した山地崩壊現地調査報告(速報),砂防学会誌,Vol.50.No.2,p.78-81,1997
54	1895/8/5	岐阜県揖斐郡揖斐川町(旧坂内村)	-	515	-	210,000	1,500,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害,古今書院,205pp.p.78-79,図録2002
55	1953/7/23	岐阜県高山市奥飛騨温泉郷中尾(旧古城郡上宝村)	-	-	-	-	5,000,000	建設省北陸地方整備局神通川水系砂防工事事務所:奥飛騨の砂防80年にまなぶ、建設省北陸地方整備局神通川水系砂防工事事務所,453pp.p.49-50,294,2000
56	1965/9/15	岐阜県本巣市(旧本巣郡根尾村)	-	335	-	85,000	1,070,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害,古今書院,205pp.p.80-81,2002
57	1965/9/15	岐阜県揖斐郡揖斐川町(旧藤橋村)	-	330	24	75,000	1,830,000	山内修:徳山白谷大崩壊,砂防学会誌,Vol.39.No.4,p.32-34,1986
58	1965/9/15	岐阜県本巣市(旧本巣郡根尾村)	-	-	-	49,000	980,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害,古今書院,205pp.p.82-83,2002
59	1997/7/10	岐阜県高山市奥飛騨温泉郷神坂(旧古城郡上宝村)	-	-	-	-	300,000	建設省北陸地方整備局神通川水系砂防工事事務所:奥飛騨の砂防80年にまなぶ、建設省北陸地方整備局神通川水系砂防工事事務所,453pp.p.66-67,2000 ;'97.7.10新穂高左横谷土砂崩壊対策,神通川水系砂防工事事務所
60	1999/9/22	岐阜県美濃市吉川町矢口	70	-	10	-	110,000	辺見泰造:平賀税・山口茂:東海北陸自動車道の降雨災害,ハイウェイ技術,Vol.16,p.110-116,2000 ;防災科学技術研究所 居住斜面災害データベースweb-GIS版(No.117) <a href="http://lsweb1.ess.bosai.go.jp/Website/SlopeDisasterWeb/viewer.htm">http://lsweb1.ess.bosai.go.jp/Website/SlopeDisasterWeb/viewer.htm</a>
61	2000/9/11	岐阜県中津川市	150	375	50	34,000	1,200,000	植野利康・原義文・伊藤明・小野秀樹・佐藤敏明・井戸清雄・若林栄一:平成12年9月豪雨により発生した中津川支川一ノ沢崩壊についての検討,平成13年度砂防学会研究発表要集,p.160-161,2001
62	1976/7/11	静岡県賀茂郡東伊豆町	-	-	-	-	130,000	安江朝光:桑原啓三・元田真孝・反町雄二:昭和51年7月の伊豆半島における被害調査速報,土木技術資料,Vol.18.No.10,p.45-49,1976 ; 大久保駿:昭和51年7月11日集中豪雨による伊豆半島,砂防学会誌,Vol.29.No.2,口録1976 群馬大学海運土木工学部51.7崩壊災害研究会,昭和51年7月11日集中豪雨による伊豆半島,土上基
63	1991/9/10	静岡県下田市落合小坂沢	60	-	-	-	120,000	中村良光・杉原忠弘・寺田秀樹・井良沢道也・菅原克夫:平成3年9月に伊豆半島南部で発生した土砂災害について,砂防学会誌,Vol.44.No.6,p.63-67,1992 ; 土砂災害年報編集委員会:土砂災害の実態,(財)砂防・地すべり技術センター, No.1991,p.14,1992
64	2004/9/29-9/30	三重県多気郡大台町(旧宮川村)	50	200	40	-	330,000	永田 秀尚, 柏木 健司, 飯沼 達夫, 萩原 陽一郎:2004年台風21号豪雨により三重県宮川村で発生した岩盤崩壊の地質要因、日本地すべり学会誌,pp.98-106,2010
65	2004/9/29-9/30	三重県多気郡大台町(旧宮川村)	70	150	20	-	100,000	永田 秀尚, 柏木 健司, 飯沼 達夫, 萩原 陽一郎:2004年台風21号豪雨により三重県宮川村で発生した岩盤崩壊の地質要因、日本地すべり学会誌,pp.98-106,2010
66	2004/9/29-9/30	三重県多気郡大台町(旧宮川村)	100	100	20	-	50,000	永田 秀尚, 柏木 健司, 飯沼 達夫, 萩原 陽一郎:2004年台風21号豪雨により三重県宮川村で発生した岩盤崩壊の地質要因、日本地すべり学会誌,pp.98-106,2010
67	2004/9/29-9/30	三重県多気郡大台町(旧宮川村)	150	170	15	-	100,000	永田 秀尚, 柏木 健司, 飯沼 達夫, 萩原 陽一郎:2004年台風21号豪雨により三重県宮川村で発生した岩盤崩壊の地質要因、日本地すべり学会誌,pp.98-106,2010
68	1976/9/13	兵庫県栗原市一宮町福知(旧栗原郡一宮町福知)	250	-	30	-	600,000	二次災害防止研究会編:二次災害の予知と対策No.2.(社)全国防災協会,194pp.p.101-123,1987
69	1889/8/19	奈良県吉野郡天川村	-	-	-	250,000	5,000,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害,古今書院,205pp.p.86-104,図録2002

No	発生日月	発生場所	崩壊地 幅(m)	崩壊地 長さ(m)	崩壊地 深さ(m)	崩壊地 面積(m <sup>2</sup> )	崩壊地-体積 (崩壊土砂量:m <sup>3</sup> )	関連文献
70	1889/8/19	奈良県五條市(旧吉野郡大塔村)	-	-	-	460,000	23,000,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
71	1889/8/19	奈良県五條市(旧吉野郡大塔村)	-	-	-	110,000	1,600,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
72	1889/8/19	奈良県吉野郡野迫川村	-	-	-	270,000	5,400,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
73	1889/8/19	奈良県吉野郡野迫川村	-	-	-	1,300,000	26,000,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
74	1889/8/19	奈良県吉野郡十津川村	-	-	-	94,000	5,600,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
75	1889/8/19	奈良県吉野郡十津川村	-	-	-	220,000	8,800,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
76	1889/8/19	奈良県吉野郡十津川村	-	-	-	150,000	3,700,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
77	1889/8/19	奈良県吉野郡十津川村	-	-	-	450,000	36,000,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
78	1889/8/19	奈良県吉野郡十津川村	-	-	-	260,000	5,200,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
79	1889/8/19	奈良県吉野郡十津川村	-	-	-	60,000	1,500,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
80	1889/8/19	奈良県吉野郡十津川村	-	-	-	120,000	3,600,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
81	1889/8/19	奈良県吉野郡十津川村	-	-	-	63,000	1,300,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
82	1889/8/19	奈良県吉野郡十津川村	-	-	-	1,000,000	20,000,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
83	1889/8/19	奈良県吉野郡十津川村	-	-	-	170,000	2,500,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
84	1889/8/19	奈良県吉野郡十津川村	-	-	-	110,000	1,700,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
85	1889/8/19	奈良県吉野郡十津川村	-	-	-	210,000	110,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
86	1889/8/19	奈良県吉野郡十津川村	-	-	-	500,000	20,000,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
87	1889/8/19	奈良県吉野郡十津川村	-	-	-	2,300,000	6,600,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
88	1889/8/19	奈良県吉野郡十津川村	-	-	-	160,000	4,900,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
89	1889/8/19	奈良県吉野郡十津川村	-	-	-	56,000	3,400,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
90	1889/8/19	奈良県吉野郡十津川村	-	-	-	45,000	1,400,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
91	1889/8/19	奈良県吉野郡十津川村	-	-	-	75,000	1,500,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
92	1889/8/19	奈良県吉野郡十津川村	-	-	-	110,000	4,400,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
93	1889/8/19	奈良県吉野郡十津川村	-	-	-	110,000	4,400,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
94	1889/8/19	奈良県吉野郡十津川村	-	-	-	180,000	2,700,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
95	1889/8/19	奈良県吉野郡十津川村	-	-	-	20,000	300,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.205pp.p.86-104.口絵.2002
96	1982/8/4	奈良県五條市西吉野町屋那瀬 (旧吉野郡西吉野村和田)	190	250	-	-	610,000	米谷恒春・森脇寛・清水文雄:1982年台風10号と直後の低気圧による三重県一志郡の土石流災害および奈良県西吉野村和田地すべり災害調査報告.主要災害調査.No.22.68pp.p.28-40.63-70.1983
97	2004/8/10	奈良県吉野郡大塔村宇井	120	120	-	-	200,000	藤澤和範・野村康裕・小山内信智・池田正:谷口崩一:奈良県大塔村で発生した地すべり災害(続報).土木技術資料.Vol.46.No.10.p.5-9.2004
98	1889/8/19	和歌山県田辺市下柳瀬 (旧龍神村)	330	250	-	-	-	独立行政法人土木研究所(2010):歴史的大規模崩壊の実態.土木研究所資料.4169.110-111.
99	1889/8/19	和歌山県田辺市上秋津	500	530	-	-	-	独立行政法人土木研究所(2010):歴史的大規模崩壊の実態.土木研究所資料.4169.108-109.
100	1889/8/19	和歌山県田辺市長野	420	660	-	-	-	独立行政法人土木研究所(2010):歴史的大規模崩壊の実態.土木研究所資料.4169.112-113.
101	1953/7/20	和歌山県伊都郡かつらぎ町花園新子 (旧花園村金剛寺)	280	530	35	148,000	5,180,000	田畑茂清・井上公夫・早川智也・佐野史織:降雨により群発した天然ダムの形成と決壊に関する事例研究.一十津川災害(1889)と有田川災害(1953)―.砂防学会誌.Vol.53.No.6.p.66-76.2001.藤田崇:諏訪浩編:昭和二十八年 有田川水害.古今書院.224pp.p.46-53.2006
102	1953/7/19	和歌山県伊都郡かつらぎ町花園新子 (旧花園村金剛寺)	200	200	30	40,000	1,400,000	田畑茂清・井上公夫・早川智也・佐野史織:降雨により群発した天然ダムの形成と決壊に関する事例研究.一十津川災害(1889)と有田川災害(1953)―.砂防学会誌.Vol.53.No.6.p.66-76.2001.藤田崇:諏訪浩編:昭和二十八年 有田川水害.古今書院.224pp.p.46-53.2006
103	1953/7/18	和歌山県伊都郡かつらぎ町花園北寺 (旧花園村北寺)	200	260	10	52,000	520,000	田畑茂清・井上公夫・早川智也・佐野史織:降雨により群発した天然ダムの形成と決壊に関する事例研究.一十津川災害(1889)と有田川災害(1953)―.砂防学会誌.Vol.53.No.6.p.66-76.2001.藤田崇:諏訪浩編:昭和二十八年 有田川水害.古今書院.224pp.p.46-53.2006
104	1953/7/17	和歌山県伊都郡かつらぎ町花園梁瀬 (旧花園村梁瀬)	-	-	-	10,000	45,000	田畑茂清・井上公夫・早川智也・佐野史織:降雨により群発した天然ダムの形成と決壊に関する事例研究.一十津川災害(1889)と有田川災害(1953)―.砂防学会誌.Vol.53.No.6.p.66-76.2001
105	1953/7/19	和歌山県伊都郡かつらぎ町花園梁瀬 (旧花園村梁瀬)	200	280	20	56,000	1,120,000	田畑茂清・井上公夫・早川智也・佐野史織:降雨により群発した天然ダムの形成と決壊に関する事例研究.一十津川災害(1889)と有田川災害(1953)―.砂防学会誌.Vol.53.No.6.p.66-76.2001.藤田崇:諏訪浩編:昭和二十八年 有田川水害.古今書院.224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位5位
106	1953/7/18	和歌山県伊都郡かつらぎ町花園梁瀬 (旧花園村臼谷)	100	250	7	25,000	175,000	田畑茂清・井上公夫・早川智也・佐野史織:降雨により群発した天然ダムの形成と決壊に関する事例研究.一十津川災害(1889)と有田川災害(1953)―.砂防学会誌.Vol.53.No.6.p.66-76.2001.藤田崇:諏訪浩編:昭和二十八年 有田川水害.古今書院.224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位23位
107	1953/7/18	和歌山県有田郡有田川町大字宮川 字柳 (旧有田郡八幡村柳)	120	150	20	18,000	360,000	藤田崇:諏訪浩編:昭和二十八年 有田川水害.古今書院.224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位12位
108	1953/7/18	和歌山県有田郡有田川町大字宮川 字柳 (旧有田郡八幡村柳)	100	200	10	20,000	200,000	藤田崇:諏訪浩編:昭和二十八年 有田川水害.古今書院.224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位19位
109	1953/7/18	和歌山県有田郡有田川町大字宮川 字柳 (旧有田郡八幡村柳)	80	100	15	8,000	120,000	藤田崇:諏訪浩編:昭和二十八年 有田川水害.古今書院.224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位34位

No	発生日月	発生場所	崩壊地 幅(m)	崩壊地 長さ(m)	崩壊地 深さ(m)	崩壊地 面積(m <sup>2</sup> )	崩壊地-体積 (崩壊土砂量:m <sup>3</sup> )	関連文献
110	1953/7/18	和歌山県有田郡有田川町大字沼谷字山谷(旧有田郡安謫村山谷)	110	100	15	11,000	165,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位25位
111	1953/7/18	和歌山県有田郡有田川町大字沼谷(旧有田郡安謫村沼谷)	90	250	5	22,000	113,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位35位
112	1953/7/18	和歌山県有田郡有田川町大字下湯川字福井(旧有田郡八幡村福井)	100	300	15	30,000	450,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位10位
113	1953/7/18	和歌山県有田郡有田川町大字下湯川字福井(旧有田郡八幡村福井)	110	200	15	22,000	330,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位14位
114	1953/7/18	和歌山県有田郡有田川町大字井谷東田(旧有田郡八幡村井谷)	100	220	10	22,000	220,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位18位
115	1953/7/18	和歌山県有田郡有田川町大字上湯川字天場(旧有田郡八幡村宝川)	100	220	10	22,000	180,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位22位
116	1953/7/18	和歌山県有田郡有田川町大字上湯川字室川(旧有田郡八幡村宝川)	90	180	8	16,000	130,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位31位
117	1953/7/18	和歌山県有田郡有田川町大字押手字下横谷(旧有田郡安謫村押手)	260	270	20	70,000	1,400,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位3位
118	1953/7/18	和歌山県有田郡有田川町大字押手字下横谷(旧有田郡安謫村押手)	150	260	10	39,000	390,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位11位
119	1953/7/18	和歌山県有田郡有田川町大字押手字下横谷(旧有田郡安謫村押手)	100	150	20	15,000	300,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位15位
120	1953/7/18	和歌山県有田郡有田川町大字押手字下横谷(旧有田郡安謫村押手)	100	290	8	29,000	232,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位17位
121	1953/7/18	和歌山県有田郡有田川町大字押手字上横谷(旧伊都郡花園村上横谷)	100	110	10	11,000	110,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位36位
122	1953/7/18	和歌山県伊都郡かつらぎ町大字花園北寺(旧伊都郡花園村北寺)	130	500	25	65,000	1,625,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位2位
123	1953/7/18	和歌山県伊都郡かつらぎ町大字花園北寺(旧伊都郡花園村北寺)	200	160	8	32,000	256,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位16位
124	1953/7/18	和歌山県伊都郡かつらぎ町大字花園北寺(旧伊都郡花園村北寺)	90	240	6	22,000	132,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位28位
125	1953/7/19	和歌山県伊都郡かつらぎ町花園梁瀬(旧伊都郡花園村梁瀬)	200 or 220	150 or 160	20	32000 or 33000	640,000 or 660,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位7位or8位
126	1953/7/19	和歌山県伊都郡かつらぎ町花園梁瀬(旧伊都郡花園村梁瀬)	200 or 220	150 or 160	20	32000 or 33000	640,000 or 660,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位7位or8位
127	1953/7/18	和歌山県伊都郡かつらぎ町大字花園北寺(旧伊都郡花園村北寺)	130	280	5	36,000	182,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位21位
128	1953/7/18	和歌山県伊都郡かつらぎ町大字花園北寺(旧伊都郡花園村北寺)	110	200	5	25,000	127,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位32位
129	1953/7/18	和歌山県伊都郡かつらぎ町大字花園久木(旧伊都郡花園村久木)	170	400	12	68,000	820,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位6位
130	1953/7/18	和歌山県伊都郡かつらぎ町大字花園久木(旧伊都郡花園村久木)	140	100	12	14,000	168,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位24位
131	1953/7/18	和歌山県伊都郡かつらぎ町大字花園久木(旧伊都郡花園村久木)	100	280	5	28,000	140,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位27位
132	1953/7/18	和歌山県伊都郡かつらぎ町大字花園久木(旧伊都郡花園村久木)	65	100	20	6,000	130,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位30位
133	1953/7/18	和歌山県伊都郡高野町大字大滝(旧伊都郡高野町)	100	130	10	13,000	130,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位29位
134	1953/7/18	和歌山県伊都郡かつらぎ町大字花園中南(旧伊都郡花園村中南)	90	140	8	12,000	101,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位37位
135	1953/7/18	和歌山県伊都郡かつらぎ町大字花園久木(旧伊都郡花園村久木)	140	260	5	36,000	182,000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位20位
136	1953/7/18	和歌山県有田郡有田川町大字杉野原(旧有田郡安謫村下柳瀬)	100 or 130 or 280	100 or 130 or 200	5 or 6 or 20	17000 or 20000 or 28000	120,000 or 140,000 or 338000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位13位or26位or33位
137	1953/7/18	和歌山県有田郡有田川町大字板尾(旧有田郡安謫村板尾)	100 or 130 or 280	100 or 130 or 200	5 or 6 or 20	17000 or 20000 or 28000	120,000 or 140,000 or 338000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位13位or26位or33位
138	1953/7/19	和歌山県伊都郡かつらぎ町花園新子(旧花園村金剛寺)	100 or 130 or 280	100 or 130 or 200	5 or 6 or 20	17000 or 20000 or 28000	120,000 or 140,000 or 338000	藤田崇: 環訪浩編: 昭和二十年 有田川水害, 古今書院, 224pp.p.46-53.2006 →P50.表5-1 崩壊規模順位13位or26位or33位
139	1953/7/19	和歌山県有田郡有田川町大字二川(旧有田郡城山村二川)	230	400	-	93,000	370,000	二次災害防止研究会編: 二次災害の予知と対策No.2.(社)全国防災協会, 194pp.p.68-70.1987
140	1983/7/23	島根県浜田市穂出町中場	50	-	-	-	15,000	昭和58年7月豪雨による島根県の地すべり災害現地調査報告書、土木研究所資料第2077号、p41-48、1984。 国立防災科学技術センター編: 1983年7月梅雨前線による島根豪雨災害現地調査報告書。主要災害調査, No.24.85pp.p.42-45.1984
141	1997/7/12	島根県出雲市奥宇賀町(旧平田市)	100	-	-	-	100,000	土砂災害年報編集委員会: 土砂災害の実態。(財)砂防・地すべり技術センター, No.1997.p.43-44.1998
142	1892/7/22	徳島県那賀郡那賀町古屋久保(旧上那賀町)	300	500	20	-	4,300,000	寺戸恒夫: 徳島県高嶺山崩壊と貯水池防災, 地理科学, No.14.p.22-28.1970
143	1885/7/1	徳島県美馬市脇町東赤谷名	-	-	-	-	500,000	四国山地砂防事務所(2004): 四国山地の土砂災害, 39
144	1892/7/25	徳島県海陽町保瀬(旧海南町)	-	-	-	-	2,000,000	四国山地砂防事務所(2004): 四国山地の土砂災害, 24.
145	1976/9/?	徳島県美馬市木屋平富士ノ池谷	140	270	8	-	300,000	寺戸恒夫: 大規模崩壊による山地地形の変化, 地理科学, No.28.p.17-27.1977
146	1976/9/?	徳島県美馬市穴吹町蔭四合地	50	310	8	-	120,000	寺戸恒夫: 大規模崩壊による山地地形の変化, 地理科学, No.28.p.17-27.1977
147	1976/9/?	徳島県那賀郡那賀町(旧木沢村)	120	240	4	-	110,000	寺戸恒夫: 大規模崩壊による山地地形の変化, 地理科学, No.28.p.17-27.1977
148	1976/9/?	徳島県那賀郡那賀町(旧木頭村)	120	370	15	-	670,000	寺戸恒夫: 大規模崩壊による山地地形の変化, 地理科学, No.28.p.17-27.1977
149	1976/9/?	徳島県那賀郡那賀町(旧木頭村)	120	190	10	-	230,000	寺戸恒夫: 大規模崩壊による山地地形の変化, 地理科学, No.28.p.17-27.1977

No	発生日月	発生場所	崩壊地幅(m)	崩壊地長さ(m)	崩壊地深さ(m)	崩壊地面積(m <sup>2</sup> )	崩壊地-体積(崩壊土砂量:m <sup>3</sup> )	関連文献
150	1976/9/?	徳島県那賀郡那賀町(旧木頭村)	190	265	20	-	1,000,000	寺戸恒夫:大規模崩壊による山地地形の変化.地理科学.No.28,p.17-27,1977
151	2004/8/2	徳島県那賀郡那賀町阿津江(旧木沢村)	100-130	1,000	10-15	-	1,000,000	橋本俊徳・佐藤威臣・山田正雄・小島健・久積崇広:阿津江地すべり機構.日本地すべり学会誌.Vol.42.No.6,p.37-42,2006 王功輝・末峯章・古谷元・海堀正博・佐々恭二:平成16年台風10号による徳島県木沢村の土砂災害.京都大学防災研究所年報.第48号B、1-8、2005
152	2004/8/2	徳島県那賀郡那賀町坂州大用知(旧木沢村)	-	-	-	-	500,000~1,000,000	日浦啓全・海堀正博・末峯章・里深好文・堤大三:2004年台風10号豪雨による徳島県木沢村と上那賀町における砂災害緊急調査報告(速報).砂防学会誌.Vol.57.No.4,p.39-47,2004 王功輝・末峯章・古谷元・海堀正博・佐々恭二:平成16年台風10号による徳島県木沢村の土砂災害.京都大学防災研究所年報.第48号B、1-8、2005
153	2004/8/2	徳島県那賀郡那賀町(旧木沢村)	120	120	5-10	-	200,000	日浦啓全・海堀正博・末峯章・里深好文・堤大三:2004年台風10号豪雨による徳島県木沢村と上那賀町における砂災害緊急調査報告(速報).砂防学会誌.Vol.57.No.4,p.39-47,2004 王功輝・末峯章・古谷元・海堀正博・佐々恭二:平成16年台風10号による徳島県木沢村の土砂災害.京都大学防災研究所年報.第48号B、1-8、2005
154	1912/9/23	香川県高松市塩江町上西	-	-	-	-	900,000	国土交通省四国山地砂防事務所:四国山地の土砂災害.国土交通省四国山地砂防事務所.68pp.p.43,2004
155	2004/9/29	愛媛県新居浜市大生院	30	50	5	-	6,500	矢田部龍一・長谷川修一:2004(平成16)年台風10、15、21号による四国の土砂災害.日本地すべり学会誌.Vol.41.No.4,p.94-96,2004
156	2004/9/29	愛媛県西条市荒川地区	80	350	-	-	170,000	高柳朝一・斎藤俊彦(2005):平成16年台風21号による国道194号西条市荒川地区の変状機構.地盤災害・地盤環境問題論文集.5、71-78.
157	1965/9/10	徳島県三好市東祖谷大西	-	-	-	-	120,000	国土交通省四国山地砂防事務所:四国山地の土砂災害.国土交通省四国山地砂防事務所.68pp.p.44,2004
158	1972/7/5	高知県香美市土佐山田町繁藤	140	150	-	-	100,000	中川賢・奥西一夫:高知県香美地区の大規模崩壊について(その1)-崩壊地の地盤構造の特徴-.京都大学防災研究所年報.No.20B-1,p.209-222,1977
159	1978/?/?	高知県土佐郡土佐町有間	350	600	-	210,000	3,720,000	岡崎好伸:シリーズ大崩壊-7.土佐有間山の崩壊.砂防学会誌.Vol.39.No.2,p.32-35,1986:防災科学技術研究所.既往斜面災害データベース(No.79)http://lswb1.ess.bosai.go.jp/disaster/data/file79.htm
160	2005/9/7	高知県香美市物部町別府中尾	170	200	20	-	-	菅原克夫・日浦啓全・末峯章:平成17年台風14号により四国で発生した土砂災害の特徴.平成18年度砂防学会研究発表会要集.p.38-39,2006
161	1953/6/28	佐賀県唐津市(旧東松浦郡入野村)	85	75	10	4,700	70,000	高橋博:大八木規夫・大滝俊夫・安江朝光.斜面災害の予知と防災.白亜書房.526pp.p.118-123,142,1986:防災科学技術研究所.既往斜面災害データベースweb-GIS版(No.24)http://lswb1.ess.bosai.go.jp/Website/SlopeDisasterWeb/viewer.htm
162	1989/9/13	長崎県南松浦郡新上五島町丸尾郷(旧南松浦郡新魚目町)	150	130	-	-	190,000	土砂災害年報編集委員会:土砂災害の実態.(財)砂防-地すべり技術センター.No.1989,44pp.p.16,1990
163	1963/8/1	熊本県球磨郡五木村横手谷	-	-	-	85,000	300,000	下川悦郎・岩松輝:九州山地におけるクリーブ性崩壊について.昭和60年度砂防学会研究発表会要集.p.194-197,1985
164	1997/7/14	熊本県八代市油谷(旧坂本村)	130	140	15	11,000	100,000	大田原幸直:九州自動車道八代地区での渓流防災対策とその効果-1997年7月15日熊本県坂本村河内谷川で発生した山腹崩壊.ハイウェイ技術.Vol.10,p.70-75,1998:竹下敬司・清水晃.熊本県坂本村.油谷川左岸の深層崩壊(速報).砂防学会誌.Vol.50、No.3、p.77-80、1997
165	2003/7/20	熊本県水俣市宝川内	70	120	10	-	92,000~96,000	水野秀明・杉浦信男・寺田秀樹・内田太郎・原根利幸・曾我部匡敏・桜井亘・西本晴男・小山西信智・武澤永純・土井康弘:2003年7月の梅雨前線豪雨によって発生した九州地方の土石流災害(速報).砂防学会誌.Vol.56.No.3,p.36-43,2003
166	2006/7/?	熊本県球磨郡皆伐跡地	70	数100m	5~10	-	-	宮縁ら.九州南部の大面積皆伐跡地周辺における斜面崩壊の実態.砂防学会誌.Vol.62、No.2、51-55、2009
167	1943/9/18	大分県佐伯市新聞地区(旧南海部郡因尾村)	-	-	-	49,000	1,500,000	田畑茂清・水山高久・井上公夫:天然ダムと災害.古今書院.25pp.p.37-38,2002
168	1971/8/30	宮崎県児湯郡西米良村薦の元	-	-	-	41,200	740,000	下川悦郎・岩松輝:九州山地におけるクリーブ性崩壊について.昭和60年度砂防学会研究発表会要集.p.194-197,1985
169	1972/7/6	宮崎県えびの市真幸町内堅地区	-	-	25	80,000	-	武居有恒監修:地すべり・崩壊・土石流.鹿島出版会.334pp.p.300-302,1980 高橋正佑:えびの市の市内堅地区に発生した山腹崩壊に関する研究.砂防学会誌.Vol.26、No.4、p.24-31、1974
170	1977/8/25	宮崎県東臼杵郡美郷町(旧南郷村)	-	-	-	29,000	-	岩松輝・下川悦郎:片状岩のクリーブ性大規模崩壊.地質学論集.Vol.28,p.67-76,1986
171	1971/8/30	宮崎県東臼杵郡南郷村	-	-	-	41,300	236,000	北村泰一・高口敬子(1992):九州山地南部における大規模崩壊の発生と斜面対策に関する考察.日本緑化工学会誌.18、1、12-18.
172	1982/7/25	宮崎県東臼杵郡椎葉村不土野	130	350	50	-	約1,000,000	岡田義美:県道上椎葉藩の前線道路災害.季刊防災.No.79,p.59-67,1986
173	1982/8/13	宮崎県西都市鎌葉	-	-	-	35,000	約100,000	北村泰一・高口敬子:九州山地南部における大規模崩壊の発生と斜面対策に関する考察.日本緑化工学会誌.Vol.18.No.1,p.12-18,1992
174	2005/9/4-9/6	宮崎県北諸県郡三股町	300	400	50	-	4,800,000	高谷精二・鈴木恵三:2005年台風14号による宮崎県内に発生した巨大崩壊.日本地すべり学会誌.Vol.44.No.2,p.20-26,2007
175	2005/9/4-9/6	宮崎県宮崎市田野町乙(旧田野町乙)	200	300	10	-	2,000,000	高谷精二・鈴木恵三:2005年台風14号による宮崎県内に発生した巨大崩壊.日本地すべり学会誌.Vol.44.No.2,p.20-26,2007.谷口義徳:2005年9月台風14号による宮崎県の土砂災害.日本地すべり学会誌.Vol.42.No.4,p.74-77,2005
176	2005/9/4-9/6	宮崎県宮崎市田野町甲(旧田野町甲) かつら谷左支溪の崩壊	-	-	-	-	-	古閑美津久・堀川毅信・宇城輝・谷内正博:2005年台風14号による宮崎県野塚山北麓および北郷町広渡川上流の崩壊・土石流.応用地質.Vol.47.No.4,p.232-241,2006
177	2005/9/4-9/6	宮崎県宮崎市田野町甲(旧田野町甲) かつら谷右支溪の崩壊	-	-	-	-	-	古閑美津久・堀川毅信・宇城輝・谷内正博:2005年台風14号による宮崎県野塚山北麓および北郷町広渡川上流の崩壊・土石流.応用地質.Vol.47.No.4,p.232-241,2006
178	2005/9/4-9/6	宮崎県宮崎市田野町甲(旧田野町甲) 別府田野川上流左支溪の崩壊	-	-	-	-	-	古閑美津久・堀川毅信・宇城輝・谷内正博:2005年台風14号による宮崎県野塚山北麓および北郷町広渡川上流の崩壊・土石流.応用地質.Vol.47.No.4,p.232-241,2006
179	2005/9/4-9/6	宮崎県宮崎市田野町甲(旧田野町甲) 別府田野川上流右支溪の崩壊	-	-	-	-	-	古閑美津久・堀川毅信・宇城輝・谷内正博:2005年台風14号による宮崎県野塚山北麓および北郷町広渡川上流の崩壊・土石流.応用地質.Vol.47.No.4,p.232-241,2006
180	2005/9/4-9/6	宮崎県宮崎市田野町甲(旧田野町甲)	150	300	5-30	100,000	1,000,000	古閑美津久・堀川毅信・宇城輝・谷内正博:2005年台風14号による宮崎県野塚山北麓および北郷町広渡川上流の崩壊・土石流.応用地質.Vol.47.No.4,p.232-241,2006
181	2005/9/4-9/6	宮崎県都城市(旧北諸県郡山之口町) 七瀬谷川の崩壊	-	-	-	-	-	古閑美津久・堀川毅信・宇城輝・谷内正博:2005年台風14号による宮崎県野塚山北麓および北郷町広渡川上流の崩壊・土石流.応用地質.Vol.47.No.4,p.232-241,2006
182	2005/9/4-9/6	宮崎県日南市(旧南那珂郡北郷村)	100	700	20	-	4,800,000	高谷精二・鈴木恵三:2005年台風14号による宮崎県内に発生した巨大崩壊.日本地すべり学会誌.Vol.44.No.2,p.20-26,2007
183	2005/9/4-9/6	宮崎県東臼杵郡椎葉村大河内	300	625	-	-	6,300,000	高谷精二・鈴木恵三:2005年台風14号による宮崎県内に発生した巨大崩壊.日本地すべり学会誌.Vol.44.No.2,p.20-26,2007
184	2005/9/4-9/6	宮崎県東臼杵郡美郷町野々尾(旧西郷村)	430	630	-	-	10,000,000	高谷精二・鈴木恵三:2005年台風14号による宮崎県内に発生した巨大崩壊.日本地すべり学会誌.Vol.44.No.2,p.20-26,2007
185	1978/6/24	鹿児島県伊佐市大口白木(旧大口市)	40	65	8.5	-	12,000	春山元寿ら:変質火山岩に由来する過圧密粘土地盤における切土斜面の崩壊.応用地質22-4、p.20-29,1981
186	1997/7/10	鹿児島県出水市針原	70	200	20	-	200,000	岩尾雄四郎・玉田文吾・山崎孝成:鹿児島県出水市針原川地域における扇状地災害の発生プロセス.地すべり.Vol.36.No.3,p.85-90,1999
187	2007/7/11	鹿児島県南大隅町船石川	40	165	9	-	18,500	武澤ら.鹿児島県船石川で発生した深層崩壊に起因する土石流の推定.砂防学会誌.Vol.62、No.2、21-28、2009
188	2010/7/3-7/7	鹿児島県南大隅町船石川	-	-	20	-	105,000	島田ら.時系列航空写真による深層崩壊の発生状況に関する一考察-船石川土石流災害より-.平成23年度砂防学会研究発表会要集.378-379、2010.:下川ら.2010年(平成22年)7月鹿児島県南大隅町で発生した連続土石流災害.砂防学会誌.Vol.63、No.3、50-53、2010